

大腸内視鏡：ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を受けられる方へ

月日	／	／	／	／	／ ～ 退院
経過	入院日（手術前日）	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後 1 日目	手術後 2 日目～
目標	・安心して手術に臨めるように準備する。	・安心して手術に臨めるように準備する。 	・お腹の痛みや、吐き気、嘔吐、排便時に出血があった場合には看護師に知らせる。	・お腹の痛みや吐き気、嘔吐、排便時に出血があった場合には看護師に知らせる。	・お腹の痛みや吐き気、嘔吐、排便時に出血があった場合には看護師に知らせる。 ・退院後の注意点について理解する。 ・退院に向けて不安なことは医師または看護師に相談する。
点滴		・点滴があります。	・点滴があります。	・点滴があります。	・点滴があります。
薬	・常用薬及び血をさらさらにする薬（抗血栓薬）の服薬状況を確認します。 ・常用薬継続については指示に従ってください。 ・21 時頃に下剤を内服してください。	・（ ）時から下剤の内服を開始します。 ・朝の内服薬は、（ ）時に内服します。 ・指示以外の内服はしないでください。 ・昼以降の内服薬は中止です。		・常用薬の再開については指示に従ってください。	
検査	・口血液検査があります。 ・必要に応じて検査が追加になります。		・ロレントゲン検査があります。病室に戻る前にストレッチャーのまま行きます。	・血液検査があります。	
処置		・手術着に着替えて、弾性ストッキングとスリットパンツをはきます。 ※スリットパンツは穴が後ろ（お尻）に来るようにはいてください。 ・呼び出しがありましたら、スタッフと一緒に内視鏡室に行きます。	・状態に応じて酸素吸入を行います。	・弾性ストッキングは、医師の指示により歩行が可能になれば脱ぎます。	
活動 安静度	・制限はありません。	・治療まで病棟内でお過ごしください。	・ベッド上安静です。	・医師の指示により、病棟内のみ歩行が可能になります。	・制限はありません。
水分	・制限はありません。 	・下剤内服終了後、水またはお茶のみ飲むことができます。	・口をしめらす程度の少量の飲水のみ可能になります	・医師の指示により、飲水のみ可能になります。	
食事	・食事療法およびアレルギーの有無を確認します。 ・大腸検査食を提供します。	・食事はできません。			・身体の状態に応じて朝から易消化食を開始します。
清潔	・シャワー浴ができます。 	・シャワー浴はできません。		・身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。	・点滴終了後、症状がなければシャワー浴ができます。
排泄	・下剤内服後の排便状況を看護師が確認しますのでお知らせください。	・下剤内服後の排便状況を看護師が確認しますのでお知らせください。 ・医師の指示で手術前に浣腸を行う場合があります。 ・尿道カテーテルを入れます。	・帰室 3 時間後から翌朝まで、排便時はトイレを使用できますが、歩行時は必ず看護師の付き添いが必要です。ナースコールでお知らせください。	・身体の状態に応じて尿道カテーテルを抜きます。 ・尿道カテーテルを抜いた後の排尿状況を看護師が確認しますのでお知らせください。	
説明 生活指導	・入院生活について説明します。 ・本人確認のためのリストバンドをつけます。 ・手術に関する同意書を確認します。 ・大腸内視鏡問診票を記入します。 ・入院中の顔色や爪色の観察のため、また治療に支障をきたす可能性があるため、化粧やジェルネイル・ネイルカラーは落としてください。 ・売店でスリットパンツをご購入ください。 ・下剤の内服について疑問や不安がある場合はお知らせください。	・治療に支障をきたす可能性があるため、義歯・指輪・ネックレス・ピアス・時計・ブラジャーなどの金属類、眼鏡・コンタクトレンズ・かつら・湿布は外してください。 ・下剤の内服について疑問や不安がある場合はお知らせください。			・食事開始後の症状の変化をお知らせください。 ・術後の食事について栄養指導があります。 ・退院後、指示された日まではアルコールなどの刺激物は避け、軟らかい食事、またはよく噛んで食事を召し上がってください。 ・退院後にお腹の痛みが強くなった、排便時に出血が多く見られるなどの症状があれば、次の外来まで待たず、電話でご相談ください。

※治療・経過・入院期間については、現時点で考えられるものであり、今後の状況によって変更になる場合があります。

2024 年 7 月改訂